

平成29年8月4日

上場会社名 アクシアル リテイリング株式会社  
 コード番号 8255 URL <http://www.axial-r.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 和彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 山岸 豊後  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0258-66-6711

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	56,381	1.4	2,085	7.8	2,119	8.7	1,438	8.9
29年3月期第1四半期	55,614	2.6	2,261	3.7	2,321	5.1	1,578	9.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,685百万円 (9.2%) 29年3月期第1四半期 1,856百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	61.62	
29年3月期第1四半期	67.62	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	94,599	50,355	53.2	2,157.22
29年3月期	95,634	49,790	52.1	2,133.02

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 50,355百万円 29年3月期 49,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		20.00		48.00	68.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		20.00		48.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	115,000	1.1	4,600	4.3	4,600	5.6	3,000	6.5	128.52
通期	231,000	0.9	9,300	2.7	9,300	1.2	5,800	0.3	248.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	23,388,039 株	29年3月期	23,388,039 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	45,418 株	29年3月期	45,359 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	23,342,651 株	29年3月期1Q	23,343,063 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、この四半期決算短信【添付資料】5ページ「1 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(四半期連結損益計算書)	9
(四半期連結包括利益計算書)	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する事項)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(会計処理の変更)	12
(会計上の見積りの変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
3 補足情報	15
(1) 生産、受注及び販売の状況	15

文中における将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が判断したものであります。

なお、将来に関する事項につきましては、不確実性を有しており、将来生じる結果と異なる可能性がありますので、記載しております事項に対する判断は、以下記載事項及び本項目以外の記載内容も合わせて慎重に行われる必要があります。

当社グループは、スーパーマーケットの経営を事業主体としており、店舗「原信」「ナルス」「フレッセイ」を各地に出店しております。

## 1 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、有効求人倍率がバブル期を超え、高度成長期に迫る水準に達したものの、消費支出は低迷を続け、経済循環が良いとは言えない状況が続きました。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結経営成績は、売上高が563億81百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益が20億85百万円（前年同期比7.8%減）、経常利益が21億19百万円（前年同期比8.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益が14億38百万円（前年同期比8.9%減）となりました。また、1株当たり四半期純利益は61円62銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたしますセグメント区分ごとの要因により変動しております。経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、営業利益の減少により変動しております。

当第1四半期連結累計期間における各セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

#### ① スーパーマーケット

##### (全般)

スーパーマーケット同士の競争のみならず、業態を超えた競争が激化する昨今の厳しい販売環境において、当社グループでは「変革への挑戦」を前連結会計年度に引き続き本年度の方針として定め、より一層強い企業体質を実現するため、グループ全体の経営基盤整備に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における動向は、次のとおりであります。

##### <来店客数>

期間を通して、気温が低めに推移し、季節感の打ち出しが難しい状況の中で、有職主婦の増加によりお客様の一部にはお買い物の頻度を減らす傾向も見受けられました。また、各地域における競合の激化に加え、自社競合の影響もあり、来店客数は既存店で前年同期に比べ2.2%減少し、全店でも前年同期に比べ0.3%減少いたしました。

##### <客単価、買上点数、一品単価>

近年進めてきた商品廃棄の削減の取り組みにより、一部の売り場で縮小均衡に陥った面が見られました。また、人手不足により開店時や夕方以降の品ぞろえが不十分な売り場も発生しました。これらについては、6月より時間帯別の商品製造数と販売数を検証し、時間帯ごとにお客様にご満足いただける売り場づくりに向けて取り組みを開始しております。

一方で近年取り組んでいる、当社グループならではの魅力ある新たな商品のご提供、お客様に伝わるご案内方法の工夫等が功を奏し、既存店の買上点数は前年同期に比べ0.9%増加し、既存店の一品単価は前年同期に比べ0.4%増加いたしました。

この結果、既存店の客単価は前年同期に比べ1.3%増加いたしました。

##### <売上総利益率>

以上のことから、商品販売における売上総利益率は、前年同期に比べ0.4ポイント増加し25.4%となりました。

(ロジスティックス)

前連結会計年度において当社グループでは4か所目の大規模物流センターとなるフレッセイ前橋物流センターが竣工いたしました。

フレッセイでは、これを活かした様々な取り組みを進めており、この効果も相まって、フレッセイ単独としての商品販売における売上総利益率は、前年同期に比べ0.6ポイント向上いたしました。

(営業費用の増加と減益要因)

<社会保険の適用拡大>

平成28年10月より社会保険の加入対象が広がり、従来、対象ではなかったパートタイム社員が相当数加入対象に該当することとなりました。これに伴い、当第1四半期連結累計期間の法定福利費は、前年同期に比べ1億50百万円増加いたしました。前年同期対比における同様の影響は、この制度が一巡する当第2四半期連結会計期間末まで続くこととなります。

<投資費用の発生時期>

前年同期においては、店舗の新規出店・改装について、いずれもありませんでしたが、当第1四半期連結累計期間においては、1店舗の改装を実施いたしました。この設備投資時期の違いによる四半期連結会計期間単独の一次的費用増加が38百万円ありました。通期においては、前連結会計年度と概ね同様の新規出店、改装計画を想定しており、この設備投資時期の違いによる費用発生は年度を通じて解消することとなります。

<営業利益率>

以上のことから、スーパーマーケット事業の営業利益率は、前年同期に比べ0.4ポイント減少し3.5%となりました。また、連結全体の営業利益率は、前年同期に比べ0.4ポイント減少し3.7%となりました。

(出店・退店等)

出店につきましては、該当ありません。

改装につきましては、原信南万代店(5月、新潟県新潟市、売場面積2,068㎡)について実施いたしました。

退店につきましては、該当ありません。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は560億60百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は19億43百万円(前年同期比9.1%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の営業状況は、次のとおりであります。

項目		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	前年同期比
店舗数	スーパーマーケット	128店舗	1店舗増加
	100円ショップ	5店舗	増減なし
	フィットネスクラブ	1店舗	増減なし
店舗売上高	全店	53,055百万円	101.1%
	既存店	51,189百万円	99.1%
来店客数	全店	2,712万人	99.7%
	既存店	2,612万人	97.8%
客単価	全店	1,956円	101.4%
	既存店	1,959円	101.3%
買上点数	全店	10.98点	100.9%
	既存店	10.99点	100.9%
一品単価	全店	178円	100.5%
	既存店	178円	100.4%

- (注) 1 店舗数は、当第1四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。  
 2 店舗売上高、来店客数、客単価、買上点数、一品単価は、スーパーマーケット店舗のみの数値であります。  
 3 客単価は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった金額の平均であります。  
 4 買上点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになった商品数の平均であります。  
 5 一品単価は、お客様がお買い上げになった商品の一品当たり金額の平均であります。  
 6 店舗売上高、客単価及び一品単価に消費税等は含まれておりません。  
 7 既存店は、店舗開設より満13か月以上を経過した店舗であります。  
 8 前年同期比は、各月の比率の平均値であり、表示単位未満を四捨五入表示しております。

② その他

(清掃事業)

スーパーマーケット事業向けの販売は、請負先の増加に伴い増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、若干減少いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ2.8%増加いたしました。原価率の増加により営業利益は前年同期に比べ3.8%減少いたしました。

(情報処理事業)

スーパーマーケット事業向けの販売は、情報機器販売及び受託情報処理量の増加により増加いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、受注案件の納入時期の関係で減少いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ22.9%増加いたしました。営業利益は前年同期に比べ0.3%減少いたしました。

(印刷事業)

スーパーマーケット事業向けの販売は、チラシ、販促資材の受注の増加により増加いたしました。また、外部顧客向けの販売は、販路の拡大に努め増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ9.0%増加し、原材料価格も適正水準で安定していたため営業利益は前年同期に比べ32.3%増加いたしました。

(運輸事業)

当社グループ全体の事業運営における最適化の観点から検討を重ねた結果、平成29年4月に外部の専業他社へ移管いたしました。

(自動車販売事業)

スーパーマーケット事業向けの販売は、整備関係の受注減少により若干減少いたしました。一方、外部顧客向けの販売は、堅調に推移し増加いたしました。この結果、売上高は前年同期に比べ3.7%増加し、営業利益は前年同期に比べ9.4%増加いたしました。

(業績)

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は14億33百万円(前年同期比7.3%減)、営業利益は1億61百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態

当第1四半期連結会計期間末における連結財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比べ10億34百万円減少し945億99百万円、総負債が前連結会計年度末に比べ15億99百万円減少し442億44百万円、純資産が前連結会計年度末に比べ5億64百万円増加し503億55百万円となりました。また、1株当たり純資産額は2,157円22銭となりました。

当第1四半期連結会計期間末における各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は215億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億7百万円減少いたしました。これは主に、資金の有効活用に努めたことから現金及び預金が減少したことによるものであります。なお、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント減少し22.8%となりました。

固定資産は730億16百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億73百万円増加いたしました。その内容は次のとおりであり、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し77.2%となりました。

有形固定資産は562億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億53百万円増加いたしました。これは主に、既存店舗の改装に係る設備投資によるものであります。

無形固定資産は19億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に、ソフトウェアの増加によるものであります。

投資その他の資産は148億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億17百万円増加いたしました。これは主に、保有する投資有価証券の時価総額が増加したことによるものであります。

(総負債)

流動負債は286億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億9百万円減少いたしました。これは主に、短期有利子負債の減少によるものであります。なお、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少し30.3%となりました。

固定負債は155億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億89百万円減少いたしました。これは主に、長期有利子負債の減少によるものであります。なお、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント減少し16.5%となりました。

(純資産)

株主資本は484億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当11億20百万円を行った反面、親会社株主に帰属する四半期純利益14億38百万円を計上したことによるものであります。

その他の包括利益累計額は18億82百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億47百万円増加いたしました。これは主に、保有する投資有価証券の時価総額が増加したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加し53.2%となりました。

② キャッシュ・フロー

当第1四半期連結会計期間末における連結キャッシュ・フローは、現金及び現金同等物（以下、「資金」といいます。）が前連結会計年度末に比べ7億25百万円減少し96億39百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フロー別の状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29億27百万円となり、前年同期に比べ2億26百万円増加（前年同期比8.4%増）いたしました。

これは主に、法人税等の支払額の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は11億92百万円となり、前年同期に比べ10億17百万円減少（前年同期比46.0%減）いたしました。

これは主に、前年同期について、新規出店店舗並びに物流センターの新設に係る建設投資を行っていたことの反動によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は24億59百万円となり、前年同期に比べ23億円増加（前年同期比1,450.3%増）いたしました。

これは主に、前年同期については、長期借入れによる収入があった反面、当第1四半期連結累計期間については、新規の長期借入を行わなかったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

【第2四半期連結累計期間】

売上高1,150億円（前年同期比1.1%増）、営業利益46億円（前年同期比4.3%減）、経常利益46億円（前年同期比5.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益30億円（前年同期比6.5%減）を見込んでおります。

【通期】

売上高2,310億円（前年同期比0.9%増）、営業利益93億円（前年同期比2.7%増）、経常利益93億円（前年同期比1.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益58億円（前年同期比0.3%増）を見込んでおります。

【上記予想の前提条件】

売上高につきましては、主たる事業であるスーパーマーケット事業において、競合状況の変化等を踏まえ、既存店売上高は通期で当年同期比0.2%の減少を見込む一方、全店売上高では新規出店3店舗による増加を見込んでおります。

営業利益、経常利益につきましては、諸経費の削減並びに売上高の伸長に伴う増加を見込んでおります。

なお、通期に比べ、第2四半期連結累計期間における経常利益の伸び率が鈍化しておりますが、これは、既存店の改装費用及び新規出店舗の開店前費用の発生並びに平成28年10月以後制度変更になった社会保険加入対象者の拡大による人件費増加を見込んでいるためであります。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益の増加に伴い、前年同期に比べ増加を見込んでおります。

【通期の業績予想に対する第1四半期の実績の進捗状況等について】

第1四半期累計期間の実績値は、当初の想定に概ね沿ったものであり、現時点で業績予想の修正はありません。

なお、第2四半期累計期間の業績予想に対する第1四半期累計期間の実績の進捗状況は以下のとおりであります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期予想 (A)	115,000	4,600	4,600	3,000	128.52
第1四半期実績 (B)	56,381	2,085	2,119	1,438	61.62
進捗率(%) (B)/(A)	49.0	45.3	46.1	47.9	47.9

【注意事項】

この四半期決算短信に記載されている業績予想等の将来に関する事項は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は既知及び未知のリスク、不確実性及びその他様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、当社グループが認識している事業等のリスクにつきましては、当社の有価証券報告書をご参照ください。



2 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,366	9,641
受取手形及び売掛金	1,228	1,106
リース投資資産	1,212	1,167
商品及び製品	4,805	4,951
仕掛品	16	38
原材料及び貯蔵品	295	342
未収還付法人税等	426	570
繰延税金資産	1,017	1,081
その他	3,530	2,688
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	22,890	21,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	28,092	28,430
機械装置及び運搬具（純額）	744	692
土地	20,629	20,629
リース資産（純額）	2,802	2,724
建設仮勘定	1,301	1,312
その他（純額）	2,538	2,474
有形固定資産合計	56,109	56,262
無形固定資産		
のれん	14	12
その他	1,935	1,940
無形固定資産合計	1,950	1,952
投資その他の資産		
投資有価証券	3,621	3,982
長期貸付金	24	24
繰延税金資産	2,153	2,040
敷金及び保証金	7,808	7,683
その他	1,109	1,104
貸倒引当金	△34	△34
投資その他の資産合計	14,683	14,801
固定資産合計	72,743	73,016
資産合計	95,634	94,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	14,335	14,471
短期借入金	500	—
1年内返済予定の長期借入金	3,926	3,509
リース債務	467	460
未払法人税等	1,501	819
ポイント引当金	80	82
役員賞与引当金	343	122
賞与引当金	1,837	2,308
その他	6,769	6,877
流動負債合計	29,762	28,652
固定負債		
長期借入金	1,739	1,399
リース債務	3,541	3,430
資産除去債務	4,991	5,005
長期預り保証金	5,144	5,145
役員退職慰労引当金	38	35
退職給付に係る負債	388	342
その他	236	232
固定負債合計	16,081	15,591
負債合計	45,843	44,244
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	29,304	29,622
自己株式	△58	△58
株主資本合計	48,155	48,472
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,569	1,819
退職給付に係る調整累計額	66	62
その他の包括利益累計額合計	1,635	1,882
純資産合計	49,790	50,355
負債純資産合計	95,634	94,599

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	55,614	56,381
売上原価	40,558	40,687
売上総利益	15,055	15,693
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	79	82
従業員給料	2,056	2,161
雑給	3,581	3,743
役員賞与引当金繰入額	106	122
賞与引当金繰入額	785	803
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
退職給付費用	138	167
地代家賃	1,257	1,277
減価償却費	886	906
のれん償却額	2	2
貸倒引当金繰入額	—	0
その他	3,898	4,339
販売費及び一般管理費合計	12,794	13,608
営業利益	2,261	2,085
営業外収益		
受取利息	16	15
受取配当金	26	28
受取保険金	21	1
その他	28	11
営業外収益合計	92	57
営業外費用		
支払利息	27	22
その他	4	0
営業外費用合計	31	23
経常利益	2,321	2,119
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除却損	1	2
投資有価証券売却損	0	—
減損損失	1	0
特別損失合計	4	3
税金等調整前四半期純利益	2,317	2,118
法人税、住民税及び事業税	786	739
法人税等調整額	△47	△59
法人税等合計	739	679
四半期純利益	1,578	1,438
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,578	1,438

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,578	1,438
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	280	250
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	278	247
四半期包括利益	1,856	1,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,856	1,685
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,317	2,118
減価償却費	933	967
減損損失	1	0
のれん償却額	2	2
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1	2
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△200	△220
賞与引当金の増減額 (△は減少)	463	471
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	△3
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5	△50
受取利息及び受取配当金	△42	△44
支払利息	27	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△1
固定資産除却損	1	2
売上債権の増減額 (△は増加)	90	121
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△124	△215
仕入債務の増減額 (△は減少)	186	135
未払又は未収消費税等の増減額	160	296
リース投資資産の増減額 (△は増加)	57	44
その他	689	668
小計	4,558	4,317
利息及び配当金の受取額	27	29
利息の支払額	△23	△19
法人税等の支払額	△1,861	△1,400
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,701	2,927
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	5	—
有形固定資産の取得による支出	△2,167	△1,318
有形固定資産の売却による収入	—	54
無形固定資産の取得による支出	△105	△69
貸付けによる支出	△4	△2
貸付金の回収による収入	3	4
その他	59	139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,210	△1,192
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△500
長期借入れによる収入	3,000	—
長期借入金の返済による支出	△1,059	△757
リース債務の返済による支出	△131	△118
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△967	△1,083
財務活動によるキャッシュ・フロー	△158	△2,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	332	△725
現金及び現金同等物の期首残高	11,308	10,364
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,640	9,639

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する事項)

当第1四半期連結会計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(会計処理の変更)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)  
該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	55,230	55,230	384	55,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	34	1,162	1,197
合計	55,264	55,264	1,547	56,812
セグメント利益	2,138	2,138	151	2,289

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業、運輸事業、自動車販売事業等を含んでおります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

	報告セグメント		その他 (百万円)	合計 (百万円)
	スーパー マーケット (百万円)	計 (百万円)		
売上高				
外部顧客に対する売上高	56,018	56,018	363	56,381
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	41	1,070	1,112
合計	56,060	56,060	1,433	57,494
セグメント利益	1,943	1,943	161	2,104

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報処理事業、清掃事業、印刷事業、自動車販売事業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
報告セグメント合計	2,138百万円	1,943百万円
「その他」の区分の利益	151百万円	161百万円
セグメント間取引消去	13百万円	4百万円
全社費用	△221百万円	△217百万円
その他の調整額	178百万円	194百万円
四半期連結損益計算書の営業利益	2,261百万円	2,085百万円

(注) 1 セグメント間取引消去は、主にセグメント間の固定資産売買によって生じた未実現利益に係る調整であります。

2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に係るものであります。

3 その他調整額は、主に報告セグメントに帰属しない全社(持株会社である当社)に対する経営指導料支払額の消去であります。

### 3 報告セグメントの変更等に関する事項

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却方法を同様に変更しております。

この結果、従来の会計処理の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間における「スーパーマーケット」のセグメント利益は0百万円、「その他」のセグメント利益は0百万円それぞれ増加しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

該当事項はありません。

### 4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日）

重要な影響を及ぼすものではありません。

当第1四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日）

重要な影響を及ぼすものではありません。



### 3 補足情報

#### (1) 生産、受注及び販売の状況

##### ① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		前年同期比			
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率		
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	生 鮮 食 品	青果	7,897	13.9	7,909	13.8	11	100.1
		精肉	6,188	10.9	6,313	11.0	125	102.0
		水産	5,436	9.6	5,438	9.5	2	100.0
		惣菜	5,129	9.0	5,264	9.1	134	102.6
	計	24,652	43.4	24,925	43.4	273	101.1	
	加 工 食 品	デイリー	10,833	19.1	10,994	19.1	161	101.5
		加工食品	14,383	25.3	14,570	25.3	186	101.3
		インスタアベーカー	826	1.4	838	1.5	11	101.4
	計	26,042	45.8	26,403	45.9	360	101.4	
	住居	1,871	3.3	1,820	3.2	△51	97.3	
衣料品	35	0.1	32	0.0	△3	91.1		
その他	62	0.1	61	0.1	△1	97.6		
営業収入	2,563	4.5	2,774	4.8	210	108.2		
セグメント間の内部売上高又は振替高	34	0.1	41	0.1	7	121.1		
小計	55,264	97.3	56,060	97.5	795	101.4		
そ の 他	外部顧客に対する売上高	384	0.7	363	0.6	△21	94.4	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,162	2.0	1,070	1.9	△92	92.1	
小計	1,547	2.7	1,433	2.5	△113	92.7		
合計	56,812	100.0	57,494	100.0	682	101.2		

##### ② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)		前年同期比			
	仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率		
ス ー パ ー マ ー ケ ッ ト	生 鮮 食 品	青果	6,264	15.4	6,243	15.3	△20	99.7
		精肉	4,664	11.4	4,723	11.5	58	101.3
		水産	3,930	9.6	3,967	9.7	37	101.0
		惣菜	3,064	7.5	3,163	7.7	99	103.3
	計	17,922	43.9	18,098	44.2	175	101.0	
	加 工 食 品	デイリー	8,121	19.9	8,242	20.1	121	101.5
		加工食品	11,577	28.3	11,630	28.4	52	100.5
		インスタアベーカー	373	0.9	378	0.9	4	101.2
	計	20,072	49.1	20,251	49.4	178	100.9	
	住居	1,493	3.7	1,446	3.5	△46	96.9	
衣料品	23	0.1	19	0.1	△4	81.3		
その他	55	0.1	60	0.1	4	108.8		
リース原価	57	0.1	44	0.1	△12	78.5		
セグメント間の内部仕入高又は振替高	81	0.2	45	0.1	△35	56.0		
小計	39,706	97.2	39,967	97.5	260	100.7		
そ の 他	外部取引先からの仕入高	1,074	2.6	912	2.2	△162	84.9	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	61	0.2	110	0.3	48	178.7	
小計	1,136	2.8	1,022	2.5	△114	90.0		
合計	40,843	100.0	40,989	100.0	146	100.4		

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。